

地域特産品で地元をPR

当市は、近江茶や近江米の産地として有名ですが、最近では、そばなどの栽培も行われ、自然の恵を活かした農産物を地域の特産品とし、地域の活性化を進めようとする取り組みも活発になっています。



▲「久保出収穫祭」で地元産のそばを味わう皆さん

そうしたなか、地元の特産品をPRしようと市内各地でさまざまなイベントが行われました。



▲特産品を紹介する展示も行われた「あさみや食・職文化フェスタ」

信楽の朝宮地域では、市内のお米を使ったパンや朝宮茶入りパンを「あさみや食・職文化フェスタ」で紹介。また同じく信楽の牧地域では、地域で栽培しているそばを「久保出収穫祭」で紹介、信楽焼の器に盛り付けられたそばを味わおうと、家族連れなどが長い列を作りました。

ふるさとの魅力満載 水口城跡から全国生中継

NHKBS2「絶対!ふるさと主義 近江国盗りクイズ!カースル36」が11月30日、水口城資料館周辺から全国にむけて公開生放送されました。この番組は滋賀県内に有名な城があった地域、彦根・長浜・安土・水口を中継で結び、各地のふるさと自慢をクイズ形式で紹介するものです。

水口会場ではゲストにお笑いタレント「ストリーク」を迎え、約100名の出演者や観覧客が生放送の緊張感を満喫。みなくち観光ボランティアガイド部による城の案内、宇川婦人部による地元特産のかんぴょうを使った郷土料理「宇川寿司」調理方法の紹介、大水口宿禰ットによる春の水口曳山祭で囃される「水口ばやし」の演奏などで盛り上がりしました。



▲水口城資料館内で「宇川寿司」の調理方法を紹介

学校給食展が11月22日から24日の3日間、かふか生涯学習館で開催されました。市内各小学校での食育の取り組み展示や「子どもの食事は大丈夫?」と題しての講演会、おはしを使った豆つかみ体験、なつかしい給食のカレーの試食などが行われ、来場者は楽しみながら子どもの食への理解を深めました。

また、22日には甲賀保健センターで「忍法 甲賀流カレー料理コンテスト」が開催され、6組の親子が参加。黒影米など地元の食材を使い、野菜を手裏剣の形に切るなど工夫を凝らしたオリジナルカレーが出来上がりました。



▲展示や体験コーナーが設けられた学校給食展

見て、食べて、作って 考える子どもの食

学校給食展

晩秋の里山を駆ける

～忍者の里スーパークロス～

第29回忍者の里スーパークロスが11月16日、甲南中央運動公園サッカーグラウンドを発着点に行われました。

アップダウンのきつい山野を駆け抜ける10キロの「スーパークロス」、2キロの「みんなで楽しく走ろう」と「みんなで楽しく歩こう」に合わせて211名が参加。あいにくの雨となりましたが、子どもから大人までが元気にスタートしました。

会場にはニュースポーツのヒットザターゲットを体験できるコーナーや、各種模擬店が設けられ、選手や応援に来た家族らが楽しく交流しました。



▲元気よくスタートするスーパークロスの参加者

体験で学んだ心のバリアフリー

貴生川小バリアフリー教室

11月14日、貴生川小学校で、障がいや介助を体験するバリアフリー教室が行われました。この教室は、障がい者の日常生活を体験することにより、バリアフリーについて理解を深めようと、国土交通省近畿運輸局などの協力によって行われたもので、この日は5年生児童97名が参加しました。

車いす体験では、グループで実際に道路を移動。途中、道路の段差や歩道橋など苦労するところもあり、そんな時はみんなで協力しながら移動しました。また、アイマスクを付けてバスへ乗り降りする体験では、怖くてなかなか前に進めず、介助してもらいながら進みました。児童は、普段気付かないところでも障がい者にとっては、不便になることを知り、助け合いを学ぶ貴重な教室となりました。



▲車いすで移動し助け合いの心を学ぶ児童

市老人クラブ大会 盛大に開催

市老人クラブ大会

創造と連帯の輪を広げてをテーマに、市老人クラブ大会が11月26日、忍の里プラザで開催されました。同大会は、老人クラブ活動のより一層の推進と充実、高齢者福祉の向上をめざし開催されたものです。

この日は、これまで各地域で活躍のあった会員の表彰式、また昨年の叙勲・褒章受章者への花束贈呈、県警本部の女性警察官による交通安全教室、安土町老人クラブ連合会の皆さんによるアトラクションなどが行われました。大会には中嶋市長も出席、これまでのご活躍と市政運営にご協力いただいたお礼を述べ、またこれからも地域の知恵袋としてのご活躍いただくようお願いしました。



▲老人クラブ育成功労者として表彰を受ける皆さん